

2019 年度海外実習生成果報告会

2019 年 12 月 7 日土曜日午前 9 時から大学 1 号館 3 階講堂で、選択実習として海外実習を経験した本学医学部生（6 年生）による海外実習生成果報告会が開催された。特にここ数年は海外選択実習を志望する本学医学部生の数は増加し、渡航前の英語力やコミュニケーション能力を評価するために英語面接で実施する志望者選考会も非常にレベルが高くなってきている。今回の成果報告会には師走初旬の多忙な時期にも関わらず、次年度以降に海外実習を志望する下級生を中心に聴衆も多く集まった。

発表者は口演・スライドともに英語で行い、現地で学んだ専門的内容について聴衆に分かりやすいように具体的に報告した。報告会では教学委員、各科臨床実習教育委員および国際交流センター運営委員らによる評価を行った。評価項目は①スライドの構成・②伝わる発表・③専門的内容の説明・④質疑の対応・⑤発表時間厳守（5 分）の 5 項目の各 5 段階評価・25 点満点評価で実施した。

本年度の報告者は 15 人で、高い英語力のみならず内容的にも非常に魅力ある発表を行い、質疑応答も英語で行い白熱した議論が行われた。医学的内容にとどまらず、各国の医療・経済事情、さらには実際の国際交流の様子について語りあう貴重な時間となった。また、発表時間を延長すると自動的に 5 点が減点されるという敢えて厳しい評価を盛り込んだ。これは、報告会を通じたプレゼンテーションスキルの練習や発表時間を厳守する意識づけを行い、半年後に訪れる医師生活をイメージするよう企画した。

発表者も聴衆も積極的に質疑応答し非常にレベルの高い成果報告会となり、終了時刻を迎えるまでが非常に短く感じるほどであった。最後に芦田ルリ国際交流センター長から参加者全員に謝辞が述べられ、集合写真を撮影して報告会は散会となった。また集計の結果、評価上位優秀賞として異厚都君、富木美結さん、近藤俊介君（学籍番号順）の上位 3 名が選出された。

